

(様式1)

自己評価票

作成日 平成24年6月14日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873300701		
法人名	有限会社 グループホーム来夢		
事業所名	グループホーム 来夢	ユニット名	1番館
所在地	〒319-2255 茨城県常陸大宮市野中町3050-1		
自己評価作成日	平成23年5月13日	評価結果 市町村受理日	平成23年12月26日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0873300701&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年6月14日	評価確定日	平成23年11月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>本人の訴えを傾聴、できる限り本人の意向に沿ったケアを行う事に力を入れている。 入居者の日常生活が混乱が少なく落ち着いた生活が出来るよう、食事・水分・排便、健康状態等の把握に力を入れている。 職員のレベルに合わせた研修の参加や資格取得支援に取り組んでいる。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は自然に恵まれた環境に立地し、共用空間や居室から豊かな自然を眺めることができる。 管理者と職員は利用者一人ひとりの意向や希望を大切にするとともに人格と尊厳を守り、家族的な生活ができるように支援をしている。 代表者は過去の経験を踏まえ、福祉に対する情熱をもってグループホーム連絡協議会の役員を担ったり認知症サポーター研修会の講師を務めるなど、事業所内外の様々な活動に取り組むとともに職員の育成指導に取り組んでいる。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日、朝の申し送り後に事業所の理念を唱和し常時理念カードを携帯している。 理念の文書をパンフレットの中に入れていている。	「その人がその人らしく、家庭的な環境の中で何時の時も尊厳ある心を持ち、共存した生活が過ごせるよう支援に努めます」との理念を掲げ、玄関に掲示するとともに、職員は理念カードを常時携帯している。 職員は毎朝の申し送り時に理念を唱和して共有を図り実践に努めているが、理念は地域密着型サービスの意義を踏まえた内容となっていない。	利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう全職員で話し合い、理念に地域密着型サービスの意義を踏まえた内容を加えることが望まれる。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の自治会に入会しており利用者と共に回覧板届けや散歩の際には地域の方と挨拶を交わして交流を心掛けている。 年1回のふれあい広場に出店参加している。	自治会に加入し利用者は職員と一緒に回覧板を届けたり、散歩の際に挨拶を交わしている。 利用者は職員と一緒に地域の清掃活動に参加するほか、年1回市商工会議所が主催する「秋のふれあい祭り」に出店し、地域の人々と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域のケアマネ会に参加したり、地域のグループホーム連絡協議会の場で地域の方に向けての研修開催の働きかけに努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	管理者が主体となり開催に向けて努力している。	運営推進会議は家族会代表や市職員、地域包括支援センター職員、民生委員、地区会長、警察署職員、消防署職員、事業所職員などで開催し、事業所の活動や利用者の状況を報告するとともに意見交換をしているが、2ヶ月に1回開催するまでには至っていない。 県の実地指導や外部評価、介護サービス情報公表の調査における反省点や東日本大震災で明らかになった教訓を話し合い、出た意見等を運営に反映させている。	運営推進会議は年間計画を立てて2ヶ月に1回開催することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営者はグループホーム連絡協議会の役員に貢献、市の担当者との関係づくりに積極的に取り組んでいる。	代表者は市担当者を訪問し情報提供を受けたり事業所の課題を相談しているほか、市のグループホーム連絡協議会の役員や認知症サポーター研修会の講師を依頼されるなど協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ケアの基本として身体拘束はしない。	管理者や職員は研修会やミーティング等で身体拘束を行わないケアについて話し合い、身体拘束の弊害を理解している。 門扉や玄関、ガラス戸等は施錠せず、見守ることで利用者の安全を確保し、自由な暮らしができるように支援をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月1回のペースで職員研修を行っており、その際は防止法を学び職員間で声掛けしながら虐待が発生しないよう努力している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護や成年後見制度の研修に参加している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時読み合わせ説明を行った上で契約を取り交わしている。契約後も不安や疑問があるときには随時電話などの問い合わせが出来ることを家族に伝えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議に家族代表も出席されており意見交換を行い要望を前向きに生かす努力をしている。	重要事項説明書に苦情解決責任者や苦情受付担当者、第三者機関の苦情相談受付窓口を明記しているほか、意見箱を玄関に設置しているが、意見や苦情等はほとんど無い状況である。 職員は日々の生活の中で利用者の意見や要望を把握するよう努めたり、家族等の来訪時に話を聴くほか、家族会からの要望を聴くなどしているが、率直な意見や要望を汲みあげるまでには至っていない。	年1回程度満足度調査を含めた無記名の家族アンケートを実施し、率直な意見や要望を汲みあげるよう努めるとともに、出た意見等を運営に反映させることを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見は代表者会議にとりあげ話し合いをし反映できるよう努力している。	管理者は職員が意見や要望を出し易い環境づくりに努めるとともに、年2回職員との個別面談を行い意見や提案を聞く機会を設けているが、それらを記録に残したり、運営に反映させるまでには至っていない。	職員の率直な意見等を汲みあげるため、年1回程度アンケートを実施し、出た意見等を記録に残し運営に反映させることを期待する。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員は1人ひとりの力量、実績を把握し働きやすい環境づくりに努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の段階に応じて研修会に参加して学ぶ機会を与えられており資格取得の支援に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	全国、県、市のグループホーム協会に参加し同業者との交流を図りサービスの質向上に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に必ず本人と面談を持ち、本人気持ちをじっくりと耳を傾け受容し関係づくりにつとめている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前には家族からの意見や現在の実情など聞き家族の状況を把握した上で信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の思い家族の実情をもとに今必要とされるサービス利用を見極めて支援の提案を行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人と共に暮らしを支えあい喜怒哀楽を分かち合いより深く本人を知る事を常とし努力している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との関係が今後もよりよい方向で継続できるよう家族との外出、外泊の支援に協力している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前暮らしていた近隣の知人の面会などを大切にしており断ち切れないよう知人の方に協力を得ている。	管理者や職員は家族等や知人が気軽に来訪できるように配慮したり、家族等の宿泊を支援している。 職員は家族等や友人からの電話を取り次いだり、利用者に代わり電話をかけるなど、これまでの関係が途切れないように支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者が孤立しないよう利用者同士の係わり合いの調整をし楽しい暮らしができるよう努力している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退院や入院の際、介護サマリーを作成し移転先へ提供を行っている。電話などの相談も受け付けている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者とのコミュニケーションをとりながら日々変化する望みや意向を職員が把握する事に努めている。	職員は利用者との日常の係わりの中で会話や表情などから思いや意向の把握に努めている。把握が困難な利用者には、いつもと違う表情や言葉を察知し、思いを代弁して確認を取るようになるなど、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族に生活歴を尋ねたり入居後も面会時に家族からより詳しく聞き把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々関わりを持ちながら1日の過ごし方、出来事訴えなど現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族に日頃の関わりの中で要望や意見を聞き介護計画に反映させスタッフ同士でモニタリング、サービス担当者会議を実施している。	介護計画は利用者や家族等から日頃の係わりの中で希望や意向を聴くとともに、関係者でカンファレンスを行い作成している。モニタリングを実施し設定期間毎に介護計画を見直すほか、利用者の心身の状態に変化が生じた場合はその都度見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の日々の様子を記録しスタッフ間で情報を共有しより良いケアを提供できるように活用している。介護計画にも活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人のニーズにあわせて訪問リハビリ等が受けられるよう手続きなどの支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安心して地域での暮らしができる様に、消防、警察などの協力を得ている。個別に地域の美容院を利用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医との関係を大切に、本人、家族の意向を踏まえ状況に応じた医療を受けられる様に支援している。	利用前からのかかりつけ医との関係を大切に、利用者や家族等の意向を踏まえ希望するかかりつけ医への受診を支援している。 月1回協力医療機関の医師による訪問診療があるほか、代表者が看護師であるとともに複数の協力医療機関と連携しており、緊急時には24時間対応ができる体制を整えている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の状態変化や異常に気づき看護師に報告し相談しながら指示を受け適切な受診の支援をしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は介護サマリーを提供する事で、本人の状態を把握してもらっている。 また、大きなダメージを受けない様に関係者と共に話し合いをし早期退院に向けて支援している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期において早い段階から、家族、関係者と話し合い、家族の意思の再確認と方向性を定め、ターミナルケアに取り組んでいる。	事業所はこれまで3例のターミナルケアの経験があるほか、現在1例が進行中である。 重度化や終末期に向けた指針を作成し、契約時に利用者や家族等に説明して同意を得ている。 ターミナルケアは協力医療機関や訪問看護師、全職員が家族等と共にチームで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は救命講習を受講している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を実施し、全職員が参加している。 近所の方へ訓練参加の声掛けをし協力体制づくりに努めている。	消防署指導のもと年2回避難訓練を実施しており、内1回は夜間を想定した避難訓練とするともに、訓練で明らかになった課題を話し合い議事録を作成している。 避難訓練に近隣住民の参加を得たり、協力体制を築くまでには至っていない。 災害時に備えて食糧や飲料水を備蓄しているが、十分な量を用意するまでには至っていない。	災害時に近隣住民の協力が得られるよう運営推進会議やチラシを活用し、避難訓練への参加を呼びかけることを期待する。 東日本大震災の経験を踏まえ、備蓄品の種類や量について話し合うことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライドを尊重し声掛けが出来る様に職員同士確認しながら対応している。	職員は排泄時や入浴時には利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応をしている。 個人情報の書類は事務所の書棚に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事、飲み物、洋服選びなど選択の場面づくりを行い、意図的に自己決定の支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、就寝など本人のペースを大切に、出来る限り生活のリズムに合わせた支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自己決定が難しい利用者には、職員と一緒に考え、本人の気持ちに添った支援を心がけている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と食事作りや食器洗いを活動のひとつにしている。 畑で採れた野菜を食材に使用し一緒に下ごしらえを行い、職員と共に楽しめる様に支援している。	献立は利用者の嗜好や状態に配慮しながら職員が作成し、購入した食材のほか自家菜園で収穫した野菜を利用して食事を作っている。 職員は利用者と同じ食卓を囲み、声かけや介助をしながら一緒に食事をしている。 利用者はできる範囲で食事の準備や後片付けを職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分、食事量を記録、1日で必要な量が摂取出来る様に支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	利用者の力に応じて声掛け見守りで口腔ケアを支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別の排泄パターンを把握し声掛け誘導する事でトイレでの排泄を行っている。	職員は排泄チェック表を活用し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともにタイミングを見計って声かけや誘導を行い、トイレで排泄ができるように支援をしている。 夜間はポータブルトイレを使用するなど、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	繊維質の多い食材や牛乳、冷水など取り入れている。 散歩などの運動や、排泄時の腹部マッサージ等でスムーズに排便が出来る様に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	出来る限り、本人の希望に添った入浴の支援を行っている。 入浴を好まない利用者には、タイミングを見て興味がわくような声掛け誘導し入浴を楽しんで頂ける様に支援している。	職員は利用者の体調や状態を見極めながら、基本的に午後の時間帯に入浴を支援している。 季節毎にバラや菖蒲、柚子などを活用し、入浴が楽しみなものになるように工夫をしている。 入浴を拒む利用者には声かけや誘導のタイミングを変えて入浴ができるように工夫をしたり、足浴などを支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個別に、体調や表情を考慮して、休息が取れるように支援している。 冬は湯たんぽを使用し暖かくして眠れる様に、支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を個人のファイルに閉じ、全職員が把握できるようにしている。 服薬時は本人に手渡し、きちんと服薬出来ているか確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	りんご狩り、地域の行事に出かけ楽しみの支援を行っている。 食事づくり、洗濯たたみ、行事の挨拶など本人の残存能力が発揮できる様に支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や散歩への支援をしている。	利用者は日常的な散歩のほか、庭や自家菜園、居室から出られるウッドデッキに自由に入出入りして外気浴を楽しんだり、職員と一緒に買い物に出かけている。 季節毎の花見や林檎狩りなど、計画的に外出ができるように支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	立替払いをする事で自由に買い物が出来る様に支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や電話の使用の希望にあわせて働きかけている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの不快な臭い、室温、光などすみやかに取り除き居心地の良い環境作りを行っている。	共用空間は明るく、利用者が居心地よく過ごせるように室温を調整したり、不快な音が無いように配慮している。 居間兼食堂や玄関には季節の花を生けたり、節句や七夕、クリスマス、正月には季節行事の飾り付けをしているほか、夏には風鈴を取り付けるなどで生活感を取り入れている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日のあたる廊下にいすを設置し、きのあった利用者同士会話が出来るよう環境づくりを行っている。	/		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真、使い慣れた物を居室におくことで、安心感、居心地よく過ごせる様に整えている。	利用者の希望や状態により、介護用ベッドか一般用ベッドを選んで使用することができる。 利用者は家族等と相談しながら、使い慣れた整理箆笥や衣装ケース、寝具等を持ち込んだり、家族等の写真やぬいぐるみ、小物、花、カレンダーなどを飾り居心地よく暮らせるよう工夫をしている。	/	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室に表札を取り付け、浴室、トイレ等分かりやすくする目印をつけ、環境整備に努めている。	/		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム来夢

作成日 平成24年4月27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進委員会議を2カ月に1回行えていない。	2ヶ月に1回の運営推進会議の実施	1年を通し会議開催日程を決め、実行する。	2ヶ月
2	10	利用者や家族などからの意見や要望を汲みあげ運営に反映させる。	利用者や家族からの意見や要望を聴き、運営に活かす。	利用者からの日々の生活からの意見や要望を聞き取る。(年1回程度のアンケートの実施)	1ヶ月
3	11	職員の意見や要望を聞き運営に反映させる。	事業者ミーティングを開催し要望を聴き、運営に活かす。	1年を通し開催日程を決める。月1回ミーティングを開催する。	1ヶ月
4	1	避難訓練に地域の参加など協力体制が築くまでにはいたっていない。	災害時に地域との協力が得られるよう信頼関係を築く。	近隣住民や交番のおまわりさんなどへチラシを配布する。地域の集まりの際には避難訓練の話をする。	6ヶ月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。